

三重大学医学部附属病院長候補者の募集にあたって

ー 学長（設置者）からのメッセージ ー

三重大学医学部附属病院は、患者の安全を第一に、質の高い医療を提供することを基盤として、大学病院ならではの高度・専門的医療や先進的医療を担うとともに、関連病院等との連携を通じ、三重県全体及び津市を含む二次医療圏の地域医療を支えています。また、次代を担う医療人の育成と、医学・医療研究の推進及びその成果の社会還元という、教育・人材育成と研究に関する重要な使命も担っています。

今、大学病院は、人口減少・高齢化、医療需要の変化、医療人材の不足や偏在、厳しい経営環境などを背景に、大きな転換期を迎えています。こうした中、本院が担う高度・専門的医療を明確にし、地域の医療機関・関連病院との適切な機能分担と連携を進めながら、教育・人材育成と研究を充実させることが求められています。次期病院長には、2040年の社会における本学のミッションと機能強化の方向性を見据え、三重県全体及び津市を含む二次医療圏の将来と、本学の教育・研究機関として附属病院が果たすべき役割を踏まえ、診療、教育・人材育成、研究にわたる明確な将来像を描いていただきたいと思います。その上で、第5期中期目標・中期計画期間を具体的な時間軸とし、期間終了時に本院が担う役割と機能を具体化するとともに、何に着手し、何を強化・見直すのかを明確にし、その実現への道筋と、病院長としての3年間に取り組む改革を示していただきたいと思います。

大学病院の診療については、人口動態や医療需要、地域の医療提供体制などを外部要因として、また、本院の診療実績、人材、施設・設備、教育・研究機能などを内部要因として捉え、本院の強み・弱みや課題を客観的に分析した上で、本院が重点的に担うべき診療機能と、その実現への道筋を明らかにし、エビデンスに基づく病院運営を進めていただきたいと思います。また、本院の診療機能全体を見渡し、入院診療、外来診療、救急診療などの位置づけを含め、社会の変化に対応して構築すべき診療体制について、具体的な考えを示していただくことを期待します。

三重県全体における大学病院の役割を考える上では、高度急性期・急性期から回復期、慢性期、在宅医療までを一つの流れとして捉え、介護・福祉を含む地域包括ケアや今後の地域医療構想も見据えながら、県、市町、関連病院等と持続可能な医療提供体制を構築することが期待されています。関連病院を含む医療機関の機能分担・連携、医師の地域・診療科偏在、看護師等の医療人の確保・育成に大学病院としてどう取り組むのか、三重県全体及び津市を含む二次医療圏を俯瞰し、限られた医療資源を生かすリーダーシップが求められます。

併せて、診療、教育、研究を高い次元で両立させ、医療人の育成と臨床研究を推進し、その成果を新たな診断・治療へつなげることも重要です。附属病院には、医学部・医学系研究科と緊密に連携するとともに、総合大学としての強みを生かし、他の学部・研究科、研究組織等との分野横断的な研究や社会共創活動を進め、その成果の社会実装につなげていただきたいと思います。大学と地域がともに人を育て、地域で培われた経験や知見を大学の教育・

研究や新たな医療へ還元する「人材と知の循環」を築き、全国や世界に誇れる特色ある成果へ発展させることを期待します。

これらの活動を実現し、持続させるためには、健全で持続可能な病院経営が不可欠です。今後計画する診療・教育等の改革や病院機能の見直しを踏まえ、病院長としての3年間にどのような方針で病院経営に取り組むのか、その考えを示していただくことを期待します。その際には、単に収益の改善を図るのではなく、診療、教育・人材育成、研究、地域医療への貢献を将来にわたって支える経営基盤を構築するという視点が重要です。具体的には、収支、診療実績、病床稼働、人的資源等の病院経営上重要な指標について、これまでの推移と現状、課題を客観的に把握・分析し、主要な経営指標（KPI）を設定した上で、現状値を起点として、今後3年間に目指す水準とその達成に向けた取組の方向性を示していただきたいと思います。これらについては、現時点で想定し得る範囲の見通しを示した上で、年度ごとに進捗を確認するとともに、診療報酬の改定、医療需要、物価・人件費等の変化を踏まえ、必要に応じて柔軟に見直していくことが重要です。併せて、病院経営を支える専門人材を確保・育成し、組織として経営力を継承・強化していただくことを期待します。

2040年を見据え、第5期中期目標・中期計画期間を一つの節目として、附属病院・医学部の未来と三重県の医療における本学の役割を構想し、この3年間をその実現に向けた変革の出発点とすることが求められます。こうした変革に必要な構想力、決断力、実行力を備え、大学の各部局、関連病院、行政、地域の医療関係者と将来像を共有し、取組を着実に進めるリーダーシップを持つ方が、次期病院長候補者として応募されることを期待しています。

学長 伊藤正明